

本仁田山山行報告書

(山域) 奥多摩：本仁田山

(コース) 大沢バス停～平石尾根～平石山～本仁田山～花折戸尾根・ゴンザス尾根～奥多摩駅

(日時) 3月25(土曜日)

(天候) 晴れのち曇り

(参加者) CL：内堀(記録)・SL：澤田淳・村尾・佐藤・堀田・加藤・押江・木下・
八戸(会員外)・小澤(会員外)・・・お試し山行

(山行タイム)

大沢バス停 8:45～平石山 11:10～本仁田山 12:10/13:00～ゴンザス尾根分岐 13:45～

ゴンザス尾根入口 15:20～奥多摩駅 15:40

(山行報告)

今回、3月定例山行は登山道に無いバリエーションルートを選択。電車組はホリデー快速奥多摩1号に乗って奥多摩駅で集合。この電車に乗れない方は車で配車して、蘇我駅にて待合わせを行い出発する。首都高も渋滞もなくすり抜け調布手前辺りでスピードが落ちるものの、何とか八王子ICに時間内に抜けられた。そのまま一気に進み、氷川キャンプ場の駐車場に到着する。8:00頃登山準備をして奥多摩駅に向かいバス停に並ぶ、運良く3番目に並べてラッキーであった。時間とともに1番バス停は人が並び一台では無理ということ頃まで来た。その後、電車組が来て車組の列に並んだ。あまりの人の多さにバス会社が川乗橋行臨時バスを用意して、乗り込む。バスに乗り10分程度で大沢停留所に到着する。ここで全員自己紹介を行った。まずは、平石橋を渡り直ぐ右側に進み、階段を上がって行く。その先は、消防ホースがある赤い箱を左側に入る。ここからが本格的な登山道であるが、あまり歩いていないので、道は薄く見える程度。

本日は私達以外に3パーティ(単独3名)が先行で入っていた。少し急登を登ると、落下防止塀を左から巻いて右側に抜けて行く。その先はコンクリートのトンネルがあり、右側を抜けると尾根が見えてくる。尾根によりやく取りつきが出来た。もう道に迷うことは無い。1時間弱で1本目の休憩を入れる。今回、ちば山山行初参加の押江さんは少しきつそうである。初めは仕方ない。お試しの八戸さん、小澤さんは年が若いせいか息も切らせず登ってくる。大丈夫そうですね。休憩後は尾根を真直ぐ登り続け平石山に到着し、二本目の休憩を入れる。やはり看板が無い。前回見落としたかと思っていたが、見つからなかった。休憩後はトロッコ線路を跨ぎ、進むと本仁田山に向かう登山道に出られた。そこから100mで本仁田山に到着する。時間も早く12:10であった。もう少し時間が掛ると思ったが意外と早く着いた。そのため、山頂で地図とコンパスによる使い方、スリング・カラビナ等をお見せしてイメージを掴んでいただいた。好印象か、はたまたはイメージダウンになったかは定かではない。長い休憩後は下山を開始する。花折戸尾根を進むが本仁田山直下はかなりの急坂で慎重に下る。皆さん足腰が強そうである。誰も転ばなかった。尾根を忠実に下り少し登るとチクマ山に到着。スルーしてそのまま進みゴンザス尾根取付きポイントに到着する。ここで、軽い休憩を入れてゴンザス尾根に進む。やはり、初めはかなりの急坂を落ちるが如く進む。慎重に下り鉄塔を潜りその際にはNHK施設が出て来た。ここで、最後の休憩を入れる。今回かなりの急坂であるが皆さん一度も転ばず降りてきている。優秀だね。

休憩後はNHKの標識に沿って下山する。前回と違い更に伐採が進んでいた。伐採した木を避けながら進むと、民家が見えフェンス脇を通るとゴンザス尾根入口標識が出て、登山終了である。皆で握手し登山終了を祝う。ゴンザス尾根は、所々に標識などもあり昔は登山道として使われていたと思われる。急登(急坂)があり危険な道と判断され少しずつ忘れ去られた道となっていた様である。平石尾根は登山道ではないが尾根一本道を歩く軽快さは気持ちの良い場所であった。午前中は天気が良かった良く青空が見えていたが、午後から高雲から広がってこれから天気が悪くなる事が伺える。ギリギリ持って有難い限りであった。下山後は奥多摩駅近くの豆腐屋さんで何人の方は購入していた。我々、車組は八王子IC側、新滝山街道沿い(道の駅滝山)側の、南京亭でラーメン・餃子を食べて帰葉した。ここのラーメンは何時食べても美味しい。ジャンボ餃

子最高である。私以外は生餃子を購入していました。また、このラーメンを目的に山に来たいと思った。初参加3名に方がいたが、無事登り・下山出来た事は力強さを感じてしまった。若い人は強いですね。次回の定例山行CLにバトンタッチです。 宜しくお願い致します。





以上